

JENESYS2015 派遣プログラム (東ティモール／高校生) の記録

1. プログラム概要

「対日理解促進交流プログラム」の一環として、東ティモールへ日本の高校生ら計 22 名が派遣され、日本の政治、社会、歴史、文化に関する理解促進や、日本の魅力等の積極的な発信を目指し、10 月 19 日から 10 月 28 日までの 9 泊 10 日の日程でプログラムを実施しました。

2. 参加高校・人数

岩手県立盛岡農業高等学校 22 名（うち 2 名引率者）

3. 訪問国

東ティモール民主共和国

4. 日程

- 10 月 19 日（月） 出発前オリエンテーション
- 10 月 20 日（火） 羽田国際空港より出発、ディリ着
【市内視察】サンタクルス墓地
- 10 月 21 日（水） 【学校交流①】セント・ピーター高校（St. Peter Senior High School）
【表敬訪問】日本国大使館
- 10 月 22 日（木） 【学校交流②】カノッサ高校（St. Magalene de Canossa Senior High School）
【講義・実習】JICA JOCV 活動紹介、手工芸品ワークショップ
- 10 月 23 日（金） 【NGO 視察】特定非営利活動法人 地域国際活動研究センター
（CDIC）：リキサ県 Maumeta 村
【学校交流③】東ティモール国立大学（UNIVERSIDADE NACIONAL TIMOR LOROSAE（UNTL）） 農学部：リキサ県 Loes
- 10 月 24 日（土） 【市内視察】タイスマーケット、クリストレイ
【商業施設】ティモールプラザ
- 10 月 25 日（日） 【ホームビジット】Canossa Senior High School 高校生宅
- 10 月 26 日（月） 【表敬訪問】外務協力省
【ワークショップ】（報告会準備）
- 10 月 27 日（火） 成果報告会、歓送会、ディリ発
- 10 月 28 日（水） 羽田国際空港到着

5. JENESYS2015 派遣プログラム記録写真（派遣国：東ティモール／高校生）



10/21 在東ティモール日本国大使館による
ブリーフィング



10/21 学校交流①（セント・ピーター高等学
校）



10/22 学校交流②（カノッサ高等学校）



10/23 NGO 地域国際活動研究センター
（CDIC）植林活動体験



10/23 学校交流③（東ティモール国立大学）
農学部実習現場見学



10/27 成果報告会

6. 参加者の感想

◆ 岩手県立盛岡農業高校 高校生

最も印象に残ったことは、現地の人々から感じられる温かみです。どの方も日頃から笑顔が絶えず、とても明るく話しかけてくれました。その温かみの元は、普段の生活での人と人との助け合いからきているという話を聞き、改めてその大切さを考えさせられました。この東ティモールという国がどれだけ素晴らしいかを日本に帰国後は是非伝えていきたいと思います。自分も東ティモールに来る前に持っていた印象と実際に見てみたものがどれだけ違ったかを覚えています。やはり、その国の印象をイメージだけで持っているのは悲しいことだと思います。そのため、この身で体験してきた自分たちがそれを積極的に伝えていきたいです。そこから何かを感じ取ってもらえたら嬉しいですし、その国のために何かできないかと考えてくれる人たちが増えればより良くなっていけると思います。この国で学んだこと、それらはもしかしたら今回でしか体験できないことかもしれないので、本当に貴重な時間を得られました。日本とこの国との国際関係がより密なものへとなっていけるよう、自分にできることを少しずつでも考えていきたいです。

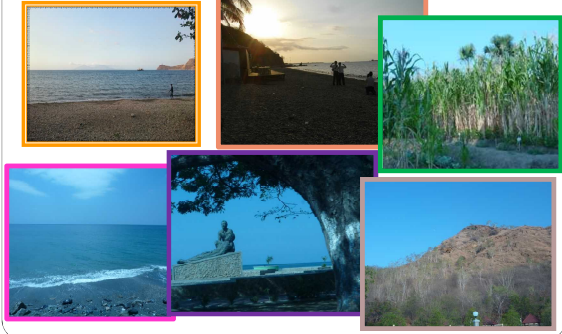
◆ 岩手県立盛岡農業高校 高校生

最も印象に残ったことは、東ティモールの人たちの人柄の良さです。争いごとが有った時の出来事や、辛い経験を聞いた上で東ティモールの人たちの強くて優しい部分がよくわかりました。とても素敵なことだと思いました。また、青年海外協力隊の方々の話もとても印象に残りました。やっていることはそれぞれ違って、目的もそれぞれですが、きちんと一つのことをやり遂げようとしている姿はとても恰好よく見えました。一人ひとりがとても輝いていて、私もこの人たちのようになりたいと思いました。将来、このような形になるかはわかりませんが、必ずまた東ティモールに来たいと思います。日本に帰って伝えていきたいことは東ティモールの人の温かさと、自然が豊かな国であることなどの他に、まだ十分に発展していないことやその内容を伝え、これからどうしたらよいのか、できることはあるのかを今回派遣に参加した人たち以外の人も考える機会が作れたら良いと思います。言葉が通じなくても、文化が違ってても、しっかりわかりあえることがわかりました。この経験を生かし、今後の活動を行っていきます。

◆ 岩手県立盛岡農業高校 高校生

最初に東ティモールに抱いていた印象とは全く違い、東ティモールは皆が生き生きしていて素晴らしい所だと思いました。皆優しく温かい人たちだと感じ、笑うと笑い返してくれて、とても嬉しかったです。日本は真面目で良いとは思いますが、こういうところはもっと見習うべきだと思います。東ティモールには車など日本製品が沢山あり、スーパーにも沢山の日本の製品がありました。日本はここまで進出しているんだと思いました。日本ってすごいんだなと改めて感じました。日本と東ティモールを比べると、やはり東ティモールの衛生面はまだまだで、特に早く上下水道が整備されればいいと思いました。トイレももっと清潔になって欲しいです。海がとても綺麗なので、生活排水で汚くなるのは本当にもったいないと思います。輸出品についても、いつか尽きてしまうような原油やコーヒーに殆ど頼っていると知ったので、今後発展していく上でさらなる輸出品が増えればいいと思いました。日本に帰国後は、こうした東ティモールの良い点や改善点、また東ティモールで活躍されている日本人のことをしっかりと伝えて行きたいです。もう一度東ティモールを訪れたいと思います。

7. 参加者の帰国後の発信内容

The difference between Japan and Timor-Leste 	Aquatic resources Need ! clean water technology Beautiful 
東ティモールでの気づき：豊かな自然	日本の魅力：自然を守る技術
But... There are some things thrown away around the sea side or on the road.  We might be able to reuse them for other purposes.	About resources 3R Reduce Reuse recycle ↓ This is the best way to reduce the amount of garbage . 
日本の魅力：ゴミの再利用	日本の魅力： 3R
cooperation volunteers Making of strap using Tice 21 Japanese volunteers in East Timor 	How to... ① school magazine ② news paper ③ Twitter ④ Face book  Picture:google image
日本の魅力：東ティモール伝統工芸品タイスを利用したストラップ制作/青年海外協力隊活動	発信方法： SNS、学校雑誌等